

平成 20 年 5 月吉日

関係者各位

マルハナバチ研究会
代表 本多健一郎



「第 9 回マルハナバチ利用技術研究会」開催のご案内

拝啓、時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素よりマルハナバチの利用普及、技術向上にご協力とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

近年、授粉昆虫としてのマルハナバチの利用は、セイヨウ種の特定外来生物指定以降、産地によっては、在来種クロマルハナバチへの切り替えも急速に進んでおり、クロマルハナバチの利用技術の確立と、その広範な普及の必要性が高まっています。つきましては、最近の研究成果や産地での導入事例を紹介し、意見交換を行なうことを目的として、「第 9 回マルハナバチ利用技術研究会」を以下の通り開催することと致しましたので、茲にご案内申し上げます。

敬具

記

1. 名 称 : 第 9 回マルハナバチ利用技術研究会
～各所における在来種マルハナバチ利用の取り組み～
2. 主 催 : マルハナバチ研究会
3. 日 時 : 平成 20 年 7 月 16 日(水) 13:30-17:00 (12:30 受付開始)
(同時開催:アグロ・イノベーション 2008)
4. 場 所 : 千葉県 幕張メッセ国際会議場 中会議室 301
(JR京葉線 海浜幕張駅 下車徒歩 5 分)
5. 参加範囲 : 研究機関、普及機関、JA、関連企業、生産者(先着 250 名まで)
6. 参加費 : 講演会 3,000 円 懇親会 7,000 円 (当日受付にてお支払い下さい)

7. 講演内容：

- 13:30-13:40 開会挨拶
- 13:45-14:15 講演 1「UVカットフィルムとクロマルハナバチの利用について」
熊本県農業研究センター 生産環境研究所 樋口 聡志氏
- 14:15-14:45 講演 2「愛知県における在来種への切り替え状況」
愛知県農業総合試験場 環境基盤研究部 小出 哲哉氏
- 14:45-15:15 講演 3「山梨県でのクロマルハナバチの取り組み」
山梨県総合農業技術センター技術普及部野菜専門科 玉井 重則氏
- 15:15-15:30 休憩
- 15:30-16:00 講演 4「カゴメにおける生鮮野菜事業とクロマルハナバチの導入意義」
カゴメ株式会社 生鮮ビジネス・ユニット・ディレクター 佐野 泰三氏
- 16:00-16:30 講演 5「高知県におけるIPMとクロマルハナバチの普及」
高知県農業振興部 環境農業推進課 岡林 俊宏氏
- 16:30-17:00 パネルディスカッション(座長:研究会代表 本多 健一郎)
- 17:00 閉会
- 18:30- 懇親会 (東京ベイ幕張)

8. 申込み方法： E-Mail または指定書式による FAX にてお申込み下さい。指定書式は、添付書類または、研究会開催案内(下記URL)よりダウンロードしてください。マルハナバチ普及会各社(アリスタライフサイエンス株式会社、株式会社アグリセクト、シンジェンタジャパン株式会社、東海物産株式会社、石原産業株式会社)にご要望いただいても結構です。

開催案内 URL: <http://www.iskweb.co.jp/IBJ/Bumblebees/2008maruhana/>

E-Mail: maruhana2008@iskweb.co.jp

FAX: 06-6444-7156(マルハナバチ研究会事務局 秋吉宛)

9. お問合せ： 上記 E-Mail または TEL:06-0444-7193(石原産業株式会社 秋吉宛)およびマルハナバチ普及会各社へお問合せ下さい。

10. 申込期日： 平成 20 年 7 月 4 日(金) 予定人数に達し次第、受付を終了します。

以上